



恐竜 と 怪獣 はどうちがうの

怪獣 は実際にはいないが、恐竜 は実際にいた

恐竜 は、たくさんの化石が発見されて、大昔に、実際に生きていた証拠がある動物です。怪獣は、人間が考え出した、実際にはいない生き物です。

恐竜が現れる少し前の地球は、暖かく、あちこちにぬまや水辺があり、魚から進化した、イモリやカエルの仲間の両生類がいました。やがて、乾燥した気候に変わってきたため、池やぬまが小さくなり、両生類の中から、体をうるこで包み、卵にもかたい殻のある、乾燥に強い「は虫類」が現れてきました。これは虫類の仲間の一つが、恐竜の先祖になりました。およそ2億5000万年前のことです。その後、恐竜は1億4000万年もの間、およそ700種類以上も現れ、地上の王様として栄えました。恐竜の、わかっている最大のものはセイズモサウルスで、頭からしっぽの先までの長さが、40～50メートルもありました。

恐竜 という名前がついたわけ

恐竜が発見されたきっかけの一つは、巨大な歯の化石が発見されたことです。これが、大トカゲのイグアナの歯とそっくりだったため、イグアノドンと名前がつけられました。その後、これが、は虫類とちがう特徴をもっていることに気づいた学者がいました。イギリスの考古学者リチャード・オーエンで、彼は、その化石に新しい名前をつけました。

その名前はギリシャ語で、「おそろしい」という意味の「ダイノス」、と「トカゲ」という意味の「サウルス」という言葉をあわせて、「ダイノサウリア」となりました。

恐竜ということばは、外国で使われている「ダイノサウリア」ということばを、日本語にやくしたものです。「おそろしいトカゲ」ではなく「おそろしい竜」とやくしたのです。
(監修・今泉 忠明)

